

事業者向け 青い鳥児童発達支援事業所 自己評価集計

回収率:100%

		チェック項目	現状と回答
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係は適切であるか	<ul style="list-style-type: none"> 面積: 各子供に対して最低でも2.47㎡のスペースが必要 児童は1人辺り3㎡必要とされている。 設備: 適切な遊び場や活動スペース、休憩スペース 安全性: 壁や窓などの安全対策が施されている事 <p>● Aの部屋は約88㎡、Bの部屋は約39㎡、児童は約37㎡ Aは最大35人、Bは最大15人、児童は最大12人</p>
	2	職員の配置数は適切であるか	<ul style="list-style-type: none"> ・10人定員…児発管1名(管理者兼務) 児童指導員以上の有資格者2名分(内常勤1名) <p>● 現在、児童・A・B共に満たしており、それ以上の人数を配置している状態です。</p>
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<p>● 各事業所の考え方にもよりますが、段差が必要と感じている部署もあるようです。既に最低限のバリアフリー化はされていると思いますが、どうしてもバリアフリーが必要な場所がある際には努力目標とします。</p>
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルとは plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)→plan→ <p>● 児童発達は話し合いの時間を設けるのが難しい状態にあるので、職員との打ち合わせをしながら話し合いの時間を作れる様努めたいと思います。 放課後等デイサービスは午後から皆で話し合いをしております。</p>
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<p>● 毎年アンケートを実施し、皆様からの意見を下に業務改善に努めております。</p>
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<p>● 自己評価の結果は毎年HPに上げておりますが、5年度よりも前の物は見れなくなっていますので、ご了承下さい。</p>
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<p>● 第三者評価は現在行なっておりません。今後、機会があればやりたいと考えております。</p>
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<p>● 今年から虐待防止委員会や感染症対策委員会が義務化され、研修も増え、研修の機会も多く出来る様努めます。</p>
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	<p>● 児童発達支援管理者が保護者に直接アセスメントを取り、ニーズや課題を吸い上げた上で個別支援計画に反映させております。</p>
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<p>● 標準化されたアセスメントツールを元に、青い鳥独自の物を使用しています。現在、更新を考えております。</p>
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<p>● スタッフの意見を取り入れ、チームで活動プログラムの立案を行なっていると思います。</p>

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	● 固定化しない様に考えておりますが、同じ様な内容になってしまう事も多いので皆で考えていきたいと思っております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	● 生活での基本スキルが課題になっている方や遊びの中で周りとのコミュニケーションが上手く取り入れる事が出来ない利用者様が多いので、平日等はその課題を中心に行い、長期休暇等の一日を通して支援できる場合は基本的な生活習慣や一日をどう落ち着いて過ごせるかが中心の支援になっていると思っております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	● 半年に一回面談を行い、子どもの状況に応じて個別支援計画に反映しています。個別と集団の活動に関しては必要に応じ、個別支援計画に記載しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	● 児童発達支援は、週案で活動内容を確認し、再度当日の朝に役割や活動内容を確認している。放課後等デイサービスは、昼のミーティング時に内容や役割分担の確認をしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	● 当日では無いが、朝礼や午後のミーティングの中で気付いた点や問題点を話し合っております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	● 毎日、サービス提供記録に記載しております。
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	● 半年に一回面談を行い、見直しの必要性を判断しています。
関係機関や保護者	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	● ガイドラインP4…基本活動のア～エを組み合わせる支援をしているかとの事なのでしている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	● 担当者会議には児童発達支援管理者や管理者、子どもの情報に精通した人が参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	● 学校の先生に確認したり、メールの登録、HPの確認をその都度行なっている。 ● 送迎時の対応については、交通安全管理者を定め、適切に対応しております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	● 医療ケアが必要な方を現在お預かりしていないので、主治医との連絡等もしておりませんが、受ける際には必要になるかと思っております。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	● 児童発達→放課後等デイサービスでもモニタリングを手渡したり等の情報共有しており、相互理解に努めている。
	24	卒業後、放課後等デイサービス事業所や障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	● 他の事業所を利用する際にもモニタリングを手渡す等の情報提供をしています。

護者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	● センター主催の研修等には、児童発達支援管理者や管理者が出席しており、児童発達では作業療法の先生から助言を頂いております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	● コロナの影響もあり、交流や健常者との活動も懸念していたが、機会があれば積極的に参加していきたいと考えております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	● 地域自立支援協議会には参加しておりません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	● お迎えや送迎時、連絡帳等を用いてお互いに必要な情報を交換し合い、共通理解している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	● 保護者様との面談の機会も多く設け、保護者様により寄り添う様、助言や指導が出来る様に努めています。 ※ペアレント・トレーニングとまではしていないが、保護者の困り感を見て助言する事も多くあります。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	● 契約時に行なっている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	● 電話での相談に乗ったり、面談の機会を設ける等、保護者の悩みや困り感に合わせてアドバイスやメンタルケアを行なっている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	● 現在、青い鳥では開催しておりませんが、今後機会を設けて、保護者参加型のイベントもやりたいと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	● 迅速かつ適切に対応できる体制は整っておりますが、保護者や子供への周知は出来ていないのが現状ですので、今後周知できる様努めていきたいと思っております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	● 現在、HPの更新頻度が少ないですが、定期的に更新できる様努めていきたいと思っております。 行事予定等の情報はお知らせとして紙をベースに利用者様に配布しております。
	35	個人情報に十分注意しているか	● 職員の契約時に個人情報保護について説明理解しておりますが、今後も注意喚起に努め、個人情報をより堅固な物にしたいと思っております。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	● 情報伝達の方法として、保護者様へは連絡帳や送迎時に丁寧な言葉で伝えられる様心掛けております。 子どもへは、イラストや顔写真を用いたり、何をやる場所か、今何をやるか等、目で見て分かり易い物にしています。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	● 現在、地域住民を招待するようなイベントは行なっていないが、機会があれば設けたいと思っております。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	● マニュアルは一通り揃っておりますが、防犯マニュアルに関しては存在が新しく、策定しておりませんでしたので早急に策定し、その他マニュアルと共に職員と保護者への周知をより一層進めていきたいと思っております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	● 年間計画を作成し、最低でも年2回訓練を行なっております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	● 虐待防止委員会を定め、研修等を行なっております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	● パニックを起こす方や他害のある方については個別支援計画の2枚目に記載しております。面談でも保護者様に説明をしてあります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	● アレルギーのある子どもについては、アレルギー表を下におやつの内容を変えたりしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	● 児童発達・放課後等デイサービス共にヒヤリハットを作成しているが共有はされていないと思っております。共有出来る時間を設け、皆で共有したいと思っております。
	44	手洗いや消毒等を含め、感染症への対策は十分に行なわれていたか？	● 入室時の手洗い、おやつ開始時のアルコール消毒、清掃業務の際には滅菌処理の強い薬剤を使って清掃する等、感染症対策は十分出来ていると思っております。

今後の青い鳥への要望(その他、現在不安に思っている、気になっている事等)

- ・管理者の方からシンクの汚れ、ペットボトル等の環境整備を指摘して欲しい。
●皆で事業所を綺麗に出来る様、その様な時間を設けたいと考えております。
- ・年間行事を作る必要があるのでは？
●年間行事は既に冷蔵庫横に貼ってあります。現在、調整中ではありますので、皆様が活用できる様な形を作っていきたいと思っております。
- ・支援に対する研修をして欲しい。
●支援に対する研修は必要であると認識しております。虐待防止に必要なスキルにもなっておりますので、今後支援に関する研修も行なっていきたいと考えております。
- ・職員全員で行う会議があっても良いのではないかと？
●必要とは感じておりますが、「放デイA・B、児童発達」全ての職員が集まるタイミングが難しく、中々出来ない状態にありますので、集まれる様努めてまいります。
- ・意見がある人は、本人が言った方が良いと思う。(情報を受けた人の解釈が入る為)
●会議等の公の場では、本人が言った方が良いと思っております。
- ・協調性や協力性は、改善されるめどが無いのが心配。
●職員一人一人の意識の持ち方で協力性や協調性は変わると思っております。
- ・インフルエンザやコロナになった際に、職員や医者によって休む期間が違うので会社で休む期間を決めて欲しい。
●会社で五日間等決まっておりますが、病院の判断を優先して休んでいただく事となっております。
- ・インフル等で明日以降の学年閉鎖告知があった場合、その当日は預かるのでしょうか？
●学年閉鎖があった当日は学年閉鎖に含まれておりませんので、お預かりとなります。
- ・今回は学年閉鎖告知の後のクリスマス会でしたが、お預かりしてもよろしいのでしょうか？
●普段の土曜日ならお預かりはしませんが、クリスマス会という事もありましたので、体調を保護者にしっかりと確認した上でお預かりをいたしました。
- ・ペットボトルや缶、瓶を会社側で回収して欲しい。
●検討いたします。
- ・職員同士、仲良く何でも言い合える仲で楽しく、子ども達と接していければと思います。
●そうですね。そう思います。
- ・イベントなど、早め早めの対応、計画が出来れば良いなと思っております。
●早めのイベント告知の方はしていますが、行動出来る様声かけしていこうと思っております。
- ・子ども達の休みの期間等、感染症対応を定めて欲しい。
●病院の判断がありますので、そちらに合わせていきます。
- ・学校に子供を迎えに行く際、預からない基準を明確にして欲しい(37.6度は問答無用で預からない等)
●基準を代表者で話し合い、何かしらの基準を設けたいと考えております。
- ・車内の応急処置用品を揃えてあると安心ですね。
●現在進行形で準備中です。
- ・賞与が出たのでモチベーションが少し上がった。

- 賞与が出せたのも皆様の頑張りのおかげです。今後も頑張っていきたいと思います。
- ・職員それぞれの役割をもう少し明確にして仕事を円滑にしたいと思います。
- 良く分かります。分担をしっかりと決めて周知したいと思います。
- ・文字で特定されてしまうのは良くないと思う。
- 極力特定されない様に努めてまいります。
- ・チームワークをより良くしていきたいと思う。
- チームワークは大切な要因の一つですので、チーム一丸となって頑張りたいと思います。
- ・子ども達や職員共に安全で安心の職場環境をこれからもよろしく願います。
- 了解いたしました。
- ・空気清浄機や加湿器等の設置があると安心できます。
- 検討いたしますが、換気等で十分対応できると考えております。
- ・ガイドラインを知らないなのであればいただきたい。
- ガイドラインは用意してありますので、皆様に周知し、サインを頂きたいと思います。
- ・アレルギーと伝えられてもアレルギーの種類が分からず、対応に困る事がある。
- 食物アレルギーに関しては周知しております。他のアレルギーに関しては全てに対応できるものではありませんので、各事業所対応を考えていきたい所存です。
- 保護者の方へは行っていただける様に言伝は致しますが、それ以上の事は言えないと思います。
- ・マスクの着用は自由だと思う。マスクを外しても安心して過ごせる環境にして欲しい。
- 基本的にはリスク管理も考え、マスクの着用は自由としておりますが、事業所毎にイベント等でマスクの規制を設ける場合がありますので、サービス向上や支援の為にマスクの非着用を決めていきたいと思っております。
- ・アンケートについて言語や内容が難しく、不鮮明な部分が多く、これらを熟知してからアンケートに臨みたいと思われました。
- 次回のアンケートは言葉を噛み砕いて分かり易いアンケートを目指します。
- ・長時間のドライブやタブレット、PCを見ている事は支援なのでしょうか？
- ドライブに関しては多動を抑制する媒体として、タブレットやPCは順番を守る為の媒体として十分に機能する物だと思います。ドライブやタブレットPCにどのような意味を持たせるかが重要だと思います。

- 以上、事業所としての令和7年度のアンケートをまとめさせていただきました。
- 職員間での周知の足りない部分も多く、これから色々な場面での学習、話し合いの場を設け、よりよい事業所としていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

令和8年2月末日 青い鳥児童発達支援事業所